

大高 司郎 ガバナー 地区スローガン	「 BE THE INSPIRATION 」 “ 元気な一歩、共に成長するクラブの力 ”
海野 宏幸 会長スローガン	「 夢の持てるクラブに！ 」
本日のプログラム	次回のプログラム
第1682回例会 3月26日(水)12:30～ 於 ホテルクリスタルパレス *移動例会 ミテラン探訪(那珂市額田城跡地) 社会奉仕委員会 浅川 清司委員長	第1683回例会 4月 2日(水)12:30～ 於 ホテルクリスタルパレス *卓話 浦澤 精乗 会員

3月< 水と衛生 月間 >

本日のプログラム

○移動例会

ミテラン探訪(那珂市額田城跡地) 社会奉仕委員会 浅川 清司委員長

3月12日例会報告(第1681回)

委嘱状



*2025-2026年度

当クラブの地区委員に委嘱状が交付されました

中村 澄夫 会員

(第1分区IMリーダー、地区ラーニング委員、
地区諮問委員、ローターアクト担当カウンセラー)

石井 秀明 会員

(インターアクト委員)

一年間どうぞ宜しくお願いいたします。



明日、3月13日は第2分区IM記念ゴルフコンペが開催されます。参加される方はメールで最終組合せ表をお送りしましたので、ご確認くださいませよう宜しくお願い致します。

出席報告

報告者 出席委員会 桐嶋 健二委員長

会員数	出席免除者 (うち出席)	対象会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
34	4(うち出席2)	32	20	12	62.5

出席免除者(下線は例会出席)

高橋 昭会員、中井英一郎会員、大部 泉会員、瀬谷利雄会員

ニコニコボックス報告

報告者 ニコニコボックス 大越 正彦委員長

浅川 清司	尾家啓之様 卓話よろしくお願いいいたします。ワインは出ませんが？
厚見 和則	尾家様本日も楽しみにしております。よろしくお願いいいたします。
猪股 真純	尾家さん本日の卓話楽しみにしていました よろしくお願いいいたします。妻の誕生日のお祝い有難うございます！
目黒 伸也	尾家様お忙しい中2度目の卓話有難うございます。よろしくお願いいいたします。
中野 修生	尾家様 卓話よろしくお願いいいたします。
大牟田 弘文	3月12日は咲く顔と書いて「えがお」と読む「咲顔(えがお)」のひだそうです。みなさんの素敵な咲顔が心も元気にしてくれます。
鈴木 正人	先日は妻の誕生費のお花を戴きましてありがとうございました。又、本日の尾家様の卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。
鶴田 哲男	尾家様 卓話よろしくお願いいいたします。
海野 宏幸	尾家様 卓話よろしくお願いいいたします。
浦澤 精乗	尾家様 第二弾卓話楽しみにしております。よろしくお願いいいたします。

尾家啓之氏(株式会社常陽産業研究所 チーフエコノミスト)



本日は、大変好評だった2024年11月27日のトランプ政権の予想される政策に関する卓話に引き続き、

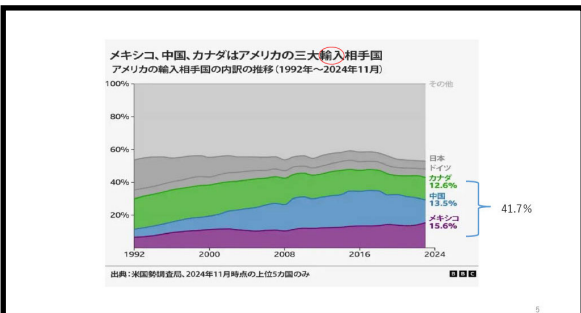
「トランプ関税」とは何かを考える」と題して、(株)常陽産業研究所チーフエコノミストの尾家啓之様に卓話いただきました。

今回もトランプ氏の施策の狙い、考察、展望、ではどうしたらよいかについて、データを用いて非常にわかりやすく明快にご説明いただき、大変興味深くかつ有意義な時間を過ごすことができました。

お忙しいところ2度に渡り卓話いただきましてありがとうございました。(以下、スライドを一部掲載させていただきます)

トランプ氏らの考える関税の狙い

- (1) 米国の貿易赤字解消
- (2) 米国内への投資を増やし、米国の雇用を取り戻す
- (3) 外国から税をとって、国内に還元する
- (4) 不法移民と合成麻薬フェンタニル流入禁止 (対メキシコ、カナダ、中国)
- (5) 交渉のカードとして使う



考察 (1)

- 関税は、まずは輸入業者が支払うもので、100%ではないにせよ、結果と国内のインフレを増進する。
- 仮に、関税により輸入価格が上昇しても、不可欠な製商品(米国内で生産される製商品)を代替できない、ないし価格競争力がない)であれば、米産からみて輸入は減らない。
- 関税引き上げに伴い米国内の価格を一定に保つために(生産者ないし輸入業者が)輸出価格を値引きすることが考えられる。この場合も、米産からみて輸入は減らない。
- 関税がかかるからといって、直ちに輸出をやめ、米国内に投資(直接投資)するとは限らない。まずは、別の輸出先を探さるう。
- 関税は競争を呼び、関税合戦、関税戦争を巻き起こし、結果的に世界貿易を縮小させる。プーメラン的に米国内経済にも打撃。

考察 (2)

- 米国の年間輸入額(2023年)はざっと3兆ドル強。輸出額(同)は2兆ドル。メキシコ、カナダに25%(発動を延期中)、中国に追加10%を含めて20%を課すことを前提に試算すると、10年間で米国の輸入業者に1兆ドル(約148兆円)の追加コスト増となる見込み。
- トランプ減税(法人税、設備投資、所得税)恒久化に伴う減税規模を推計すると、10年間で4兆5,000億ドル相当(約670兆円)の見込み。
—— 歳出削減(政府効率化)により捻出する財源は約2兆ドル。
- 関税がトランプ減税恒久化の財源になるものではない。

ではどうしたらよいか

- 米国の貿易赤字を減らすためには、①為替レートをドル安にするか、②米国内の需給を調整するか、③その両方を併用するか、④はトランプ政権下で取られる可能性はゼロではないと思われるものの、タスリカを優先して、他国の赤字国債が弱いドルを標榜するのは、対外的には言えない。
- 一方、国際金融面で米国は基軸通貨国である。貿易赤字・経常赤字はいわば宿命とも思える。それを持続可能な限り(他国が増加続ける限り)において、米国の貸付提供を減らす必要はない。
- 本来貿易赤字・経常赤字は、基軸通貨国がシタタする政策課題ではないはず。では、なぜ、筋悪の関税にそえなにかたわるのか。

まとめ

- トランプ氏にとっては「(米国民のために全力で)やっつける感」の醸成が最優先ではないが、しかし関税政策に関して、米国民のためにも、世界の為にもなれないことは、既に明白である。2026年秋の中間選挙までは世界は振り回される。しほは忍耐強く、辛抱するしかない。
- 第二次大戦勃発の要因にもなった、関税合戦、貿易戦争、経済のブロック化を避けるためにも、世界平和を希求しなければならぬ。強力自由貿易法を維持するのが主眼。時に、わが国はその先導者である必要がある。同盟国であるがゆえにトランプ氏に助言できる存在である必要がある。
- 関税による保護主義は、極めて限定的に、例外的に運用されるべき。一律関税は、現代においては理論的にも実務的にもナンセンス。こうした正論を、いろいろなルートを通じて米当局に伝え続けていくしかない。

ご清聴ありがとうございました

東海那珂ロータリークラブ

クラブ事務所 〒311-0103 茨城県那珂市横堀1721-6 常陸環境開発株式会社
電話090-7517-2473/E-mail:Tokainakarotary@gmail.com

例会会場 〒312-0023 茨城県ひたちなか市大平1-22-1 ホテルクリスタルパレス内
電話029-273-7711

クラブ会報委員会 委員長 高橋 琢 /副委員長 藤田 明英/委員 佐藤 広道 瀬谷 利雄 藤澤 亮
大牟田 弘文

例会欠席の場合は、必ず前日までに事務局に連絡してください